

学習院大学史料館所蔵史料目録 第十三号

武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(四)

凡 例

一 本目録は、昭和四二年五月一〇日に町田雅男氏から学習院大学に寄贈された、武蔵国秩父郡上名栗村（現在の埼玉県入間郡名栗村大字上名栗）町田家文書の近世状型文書のうち、村方関係文書の一部の目録である。

一 〈文書の分類〉

文書は主題分類を施し、各分類ごとに年代順に配列した。但し、年貢・諸役1〈領主―村〉に関しては、領主名を優先している。文書の内容が複数の分類項目にわたる場合には、主たる主題と思われる項目に分類した。なお、年代のない文書は、整理番号順に配列した。

一 〈文書番号〉

一文書に一番号を原則とした。ただし、一括して保存されていたり、綴られていた文書で、一括の単位を重視した方がよいと判断した場合には、枝番号を付した。その際、分類項目は枝番号の一つを代表させた。なお、枝番号は、確定できる年代の初年に合わせて編年している。

また、文書番号は近世文書の通し番号となるため、『学習院大学史料館所蔵史料目録 第十一号 武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書 (三二)』からの続き番号である。

一 〈年代〉

作成年代を表記した。本紙の年記をとるが、推定できる場合は（ ）で補い、包紙からの情報は「」でとった。年号はアラビア数字としたが、晦日・大晦日は原文のままにした。極月も原文のままとしたが、年代が特定でき、閏か否かがわかるときには「12月」・「閏12月」と表記している。原文書に干支があり、年代が推定できる場合には、年代欄に（ ）で推定年代を表記した。

なお、コンピューター入力にあたり年代をコード化したため、年代欄に記入されていた干支をはじめ、「吉日」・「朝」・「済」・「改」・「分」・「第」などの情報は省略した。

一 〈文書名〉

文書の原表題を採ることを原則とした。ただし、原表題だけでは内容が不明瞭なもの、原表題がないものについては、目録作成者

が必要に応じて（ ）で補った。（ ）表題内は、固有名詞以外は新字に直し、できる限り現代仮名遣いを用いた。なお、（ ）表題の中に「ほか」とある場合は、同一表題の中に複数の内容を含むものであり、（ ）表題の外に「ほか」とある場合は、本来別個体の文書が継ぎ合わされているものである。

一 〈差出（作成）・受取〉

旧字・作字は原文通りとしたが、敬称などは省略した。村名・組名・人名が複数の時には、その一つを代表させた。差出・受取とも補えるものは（ ）で補い、本紙に盛り込まれていない包紙の情報は「」で補った。

一 〈形態〉

形態は、竪、竪切、竪折、継、横切、横折、折、絵図、折本、包紙、袋、封筒、短冊、付札、札、付箋、などとした。ただし、今回の目録はこの一部しか使用していない。

その他、美濃判は縦二七～二八センチ以上を基準とし、「美」と表記した。横帳、竪帳が損壊し一紙になったものは、（横帳）、（竪帳）と表記した。

一 〈数量〉

数量は、一個体を一点として数えた。例えば、包紙と本紙が別々の個体の場合は二点と数えている。

一 本館では、近世は明治四年以前としているが、枝番号の関係で明治五年以降の文書が含まれる場合もある。

目次

村方関係文書 その2

村況・生活 2

寺社——寺檀・氏神関係など…………… 1

寺社——祈禱・配札・勸化など…………… 9

書上…………… 15

絵図…………… 21

諸稼——諸稼…………… 28

諸稼——酒造…………… 28

年貢・諸役 1

〈領主—村〉

割付状…………… 35

皆済目録…………… 45

年貢・諸役などの受取類…………… 54

夫役（助郷・日光社参下役）…………… 64

上納金——上納金関係…………… 65

上納金——館林藩への上納金関係…………… 67

御用炭…………… 69

年貢・諸役 2

〈村内〉

年貢小手形——個人別……………72

年貢小手形——組別……………99

年貢諸役・村入用の受取・覚・勘定類……………109

年貢・諸役 3

〈周辺諸村との関係〉

漆年貢……………140

兵賦……………143

周辺諸村との関係……………144

土地

入会……………153

御林……………159

新田……………162

荒地起返し……………164

高反別……………166

その他

……………169

解説にかえて……………171

村方関係文書 その2

村況・生活 2

寺社—寺檀・氏神関係など

文書番号	年 代	文 書 名	差 出	受 取	形態・数量
7943	寛永21年9月19日	御壁書写(引導祭導公事裁許の上言い渡しの掟について)	総寧寺ほか2寺	曹洞宗寺院	継美 1
7944	正徳6年4月晦日	差上ケ申口上書之覚(熊四郎・大助の離檀について)	下名栗村龍泉寺	龍穩御賢寺役者衆	堅 1
7945	正徳6年5月	乍恐以口上書奉願候(本山へ召し抱え願)	武州秩父郡上名栗村熊四郎ほか1名	龍穩寺役者	継 1
7946	正徳6年7月	乍恐以書付を奉願上候(功作返却の件)	上名栗村熊四郎ほか1名	龍穩寺役者衆	継 1
7947	正徳6年7月	差上申口上書之事(熊四郎・大助へ功作物返却断りの件)	名栗龍泉寺	龍穩寺役者	堅 1
7948	享保2年2月	乍恐口上書を以願上ケ申候(熊四郎・大助功作返還拒否および両人を帰檀させたい旨)	武州秩父郡下名栗村龍泉寺旦那八郎右衛門ほか21名	龍穩寺役者	継美 1
7949	享保2年2月	乍恐口上書を以申上候御事(熊四郎・大助一件の返答書)	武州秩父郡下名栗村龍泉寺	龍穩寺役者	継美 1
7950	宝暦3年9月	乍恐口上書を以申上候(龍泉寺乱謀一件についての訴状)	武州秩父郡上名栗村願人名主銀右衛門	龍穩寺役者	継 1
7951	宝暦3年9月	乍恐書付ヲ以奉願上候御支(銀右衛門祠堂金出入について訴状)	龍泉寺旦那那惣代太郎右衛門ほか1名	伊奈半左衛門役人	継 1
7952	宝暦4年7月	乍恐以書付奉願上候(龍泉寺の山林伐荒に対する檀家の抗議文控)	武州秩父郡上名栗村願人銀右衛門ほか3名	奉行所	継 1
7953	天明8年5月13日	差上申一札之事(村高除地坪数書上)	武州秩父郡上名栗村名主八三郎ほか2名	倉橋長右衛門ほか2名	堅 1

7973	安政2年5月	差出申一札之事（不動尊境内にある木を伐り取らない旨）	檜渕より石屋倉迄氏子32人惣代政右衛門ほか4名	代八ほか2名	継	1
7972	安政2年5月25日	差上申済口證文之事（木品買売出入内済の件）	松平大和守領分武州秩父郡坂石村百姓代訴訟人吉造ほか1名	奉行所	継	1
7971	（嘉永4年）2月	（権現堂畑地境覚）			横折	1
7970	天保15年8月24日	差上申一札之事（正覚寺雪道逼塞を命じられるところ免除について）	上名栗村正覚寺雪道ほか1名	林部善太左衛門役所	継	1
7969	天保14年7月26日	乍恐以書付奉申上候（百姓孫左衛門後家きち葬式始末につき正覚寺呼出）	武州秩父郡上名栗村百姓代次兵衛当病二付代同人悻岸次郎	林部善太左衛門役所	豎	1
7968	天保12年4月15日	覚（銅常燈籠一對・永代常燈明料受取）	金子栄之助ほか2名	願主町田屋安助	豎美	1
7967	天保8年7月	預り申修堂金証文之事（寺中杉檜売却金より金銭預りについて）	上名栗村金預り主（町田）栄次郎ほか1名	柏林寺納所	継美	1
7966	文政12年4月	乍恐以書付奉申上候（神主播摩寺社宗門承引せざる件につき一札）	武州秩父郡南村組合年番惣代名主平次郎ほか6名	山田茂左衛門役所	継	1
7965	（文政5年6月）	（雷電宮木地十一面観音造立について）ほか			折	1
7964	文化12年11月	覚（千部説経布施受取）	菩提所龍泉寺ほか3寺	新館町田浦之助	継	1
7963	文化12年6月	定（法華経千部説誦布施・飯料受取）	菩提所龍泉寺ほか4寺	新館町田浦之助	包・継美・切	3
7962	文化10年2月	差上申住職證文之事（柏林寺住職着任について）	武州秩父郡上名栗村柏林寺海満ほか3名	能仁寺役者	継	1
7961	文化8年7月	（妙見太神御宝前上名栗村」と記した書）	小田切翼		継	1
7960	文化3年10月晦日	差上申後席願書事（住職移転につき後席の件）	上名栗村圓正寺慈舟	龍泉寺役寮	継美	1
7959	文化1年10月	乍恐以書付奉願上候事（住職移転につき後席の件）	武州秩父郡下名栗村龍泉寺ほか1名	龍穩寺役寮	豎	1
7958	（文化1年）3月	（新規勸請取払につき上下名栗村名主・組頭・百姓代の継添請印形差出し覚）	下名栗村名主清五郎ほか23名		継	1
7957	享和3年11月	乍恐以書付奉申上候（調勘定延引について）	秩父郡上名栗村圓正寺		豎	1
7956	寛政9年9月29日	差上申住職證文之事（円正寺住職着任について）	上名栗村圓正寺慈舟	龍泉寺役寮	継美	1
7955	（寛政6年）	（柏林寺預り金利息払書上）			切	1
7954	寛政6年5月	一札之事（寄付1両受取）	柏林寺現住石鳳	町田浦之助	豎	1

寺社一寺檀・氏神関係など

7982	慶応3年10月15日	覚(菩提院薬師尊十二神一鉢寄付料受取)	龍谷村宮崎忍藏	名栗村町田瀧之助ほか1名	横切 1
7981	慶応2年12月25日	覚(祠堂金利息受取)	圓正寺	新立町田瀧之助	堅切 1
7980	慶応1年12月18日	覚(金銭受取)	圓正寺	町田瀧之助	堅切美 1
7979	慶応1年7月13日	(金2両受取覚)	圓正寺	新館町田瀧之助	堅 1
7978	(元治1年)12月28日	受納覚(読経施齋料)	龍泉寺	町田瀧之助	切 1
7977	万延1年6月	入置申一札之事(上白岩山の神境内の檜を奉納木とする件について)	上名栗村白岩組伊与次ほか11名	町田瀧之助	継 1
8		受納覚		包	包 1
7	7月4日	覚(祠堂金利益受取)	柏林寺	新館	継 1
6	6月28日	請取(祠堂金利益)	柏林寺	新館	継 1
5	3月9日	覚(子ノ権現御膳料受取)	子ノ山院代	新館町田瀧之助	切 1
4	申年7月9日	覚(初穂料受取)	榛名山圓乘院内中野丹平	上名栗村町田瀧之助	堅切 1
3	未年10月1日	覚(初穂料受取)	榛名山圓乘院内中野丹平	上名栗村町田瀧之助	切 1
2	安政6年12月28日	覚(読経施齋料受取)	龍泉寺	町田瀧之助	横切 1
1	安政6年7月7日	受納覚(読経施齋料)	龍泉寺	町田瀧之助	切 1
7976					
7975	安政5年12月28日	受納覚(読経施齋料)	龍泉寺	町田瀧之助	切 1
3		(書簡)	かしはや内録右衛門	新たちだん那	継 1
2		口述(仏事供養についての相談のため出会の旨)	柏屋	町(田)滝(之助)	継 1
1	安政3年12月27日	覚受納事(読経施齋料)	龍泉寺	新館町田瀧之助	切 1
7974					

8002	卯年4月	(上名栗村除地分ほか金銭覚) ほか	取集人		綴	1
8001	卯年1月1日	覚(護摩料ほか神納について)	子ノ山	使	横切	1
8000	寅年3月10日	舌代(御膳料奉納受取)	子ノ山院代	町田瀧之助	切	1
7999	丑年4月25日	覚(金銭預り証文) ほか	名栗新立ほか	子ノ山使ほか	包切・継・切	6
7998	子年12月29日	受納覚(読経施齋料)	龍泉寺	新館町田瀧之助	切	1
7997	子年10月28日	覚(金銭受取)	圓正寺	町田瀧之助	堅切	1
7996	子年9月28日	覚(青銅40疋初尾神納)	奠山役僧正覚院世話人平六ほか1名	上名栗村役人	堅切	1
7995	子年4月晦日	覚(諏訪妙見両社石燈籠地形について)	セ話人		切	1
7994	子年3月9日	覚(御膳料神納について)	子ノ山役場	新立	継	1
7993	甲子年11月28日	覚(金2両受取)	圓正寺	町田瀧之助	切	1
7992	明治5年7月13日	受納覚(読経施齋料)	龍泉寺	町田俊三郎	切	1
7991	(明治3年)3月6日	(円正寺祠堂金利息巳年12月分2両受取)	龍泉寺	(町田)俊三郎	堅切	1
7990	明治3年12月29日	覚(金銭受取)	醫王寺	町田春太良	堅切	1
7989	明治3年7月13日	受納之覚(読経施齋料)	龍泉寺	町田俊三良	切	1
7988	明治2年11月19日	覚(円正寺修道金利息受取)	龍泉寺	(町田)瀧之助	堅	1
7987	明治2年3月	乍恐以書付奉願上候(神仏混交停止につき明神号に改名したい旨願書雛型)	か1名	岩鼻縣役所	堅	1
7986	明治1年12月	覚(金銭受取)	柏林寺	新立町田瀧之助	切	1
7985	明治1年12月27日	覚(金銭受取)	圓正寺	町田瀧之助	堅切	1
7984	慶応4年7月	(金銭受取覚)	圓正寺	新館町田瀧之助	堅切	1
7983	慶応3年12月25日	(金銭受取)	円正寺	町田瀧之助	切	1

寺社一寺檀・氏神関係など

6	5	4	3	2	1	8013	3	2	1	8012	8011	8010	8009	8008	8007	8006	8005	8004	8003
	6月	午年10月9日	午年10月9日	午年7月	巳年11月1日			巳年12月晦日	巳年7月12日		巳年5月9日	辰年12月27日	辰年12月27日	辰年11月19日	辰年9月1日	辰年8月14日	辰年7月12日	辰年2月	卯年12月28日
覚(金銭受取)	覚(縄代金など渡し)ほか	覚(白岩組分寺院寄進銭勘定)	覚(再勘定後の奥之屋扶持糸代金受取)	覚(柏林寺庫裏・屋根替人用出金願)	覚(寺院寄進銭渡し)		受納覚	受納之覚(読経施齋料)	受納覚(読経施齋料)		覚(護摩料受取)	(大光院ほか寺社差出し諸色勘定済について)	受納覚(読経施齋料)	覚(祠堂金利息受納)	(大行院潰れの儀など尋につき返答書控)	記(読経施齋料受納)	覚(焼薫料受取)	覚(祠堂金利息受取)	受納覚(読経施齋料)
	柏林寺		柏林寺	八三郎	町栄			龍泉寺	龍泉寺		天寺納所		龍泉寺	柏林寺	上名栗村役人「穴沢大行院跡仙蔵」	龍泉寺住務有馬善慶	徳雲山典庵	柏林寺	龍泉寺
			(町田)栄治郎	町田栄次郎	柏林寺納所并八三郎			町田俊三郎	町田瀧之助		新館使衆		町田瀧之助	新館(町田)安之助	院	町田俊三郎	町田	新館手代	町田瀧之助
切	横帳	継	継	継	横切		包	豎	切		包・継2	継	切	継	包・継2	状	切	継	豎
1	1	1	1	1	1		1	1	1		2	1	1	1	2	1	1	1	1

8030	2	1	8029	8028	8027	8026	8025	8024	8023	8022	8021	8020	8019	8018	8017	8016	8015	8014	7
亥年7月8日		(戌年)		戌年12月28日	戌年7月7日	戌年6月13日	戌年6月5日	酉年12月27日	酉年6月24日	申年12月28日	申年7月7日	未年7月31日	未年7月23日	未年7月23日	未年6月27日	未年3月8日	巳年12月28日	巳年11月20日	
覚(読経料受取)	(皇御孫八日向ノ国) ほか書付)	(社寺掛りほか諸入用割合覚)		覚(祠堂金利息受納)	受納覚(読経料)	目録(子ノ山勸化金納控)	請取(祠堂金利息)	覚(祠堂金利息受納)	請取(祠堂金利息)	覚(祠堂金利息受取)	覚(回向料・盆供米受取)	(諏訪職獅子勸定)	覚(職人賃金受取)	覚(職物代金受取)	覚(新館奉加金など書上)	覚(勸化金・初穂料受取)	覚(読経施齋料受取)	覚(護摩料受取)	覚(金銭勸定)
川又龍泉寺			圓正寺	龍泉寺		柏林寺	圓正寺	柏林寺	圓正寺	龍泉寺		岡九屋忠七	(岡田屋忠七)代藤八		愛宕山南之坊	龍泉寺	子之山役人		
日立町田瀧之助			町田瀧之助	町田瀧之助		新館	町田瀧之助	新館	町田瀧之助	上名栗村町田安之助		音次郎	音次郎		町田軍蔵	町田瀧之助	新立町田		
横切美・2	切1	横折1	切1	切1	横折1	継1	堅切1	継1	堅切1	切1	切1	継1	継1	継1	堅1	堅1	横切1	継1	

寺社一寺檀・氏神関係など

8047	12月晦日	受納覚 (読経施齋料)	龍泉寺	町田瀧之助	豎	1
8046	12月25日	受納覚 (読経施齋料)	龍泉寺	町田瀧之助	包・切	2
8045	11月29日	覚 (寺社別金銭渡し)			切	1
8044	11月8日	覚 (護摩料ほか受取)	子ノ山院代	町田瀧之助ほか1名	切	1
8043	11月5日	覚 (護摩料受取)	天龍寺	使衆	切	1
8042	11月2日	覚 (御膳料受取)	子ノ山院代	新立町田	切	1
8041	10月22日	覚 (職物代金)	嶋屋十兵衛	町田栄次郎	継	1
3	7月29日	(書簡)	雄月庵柏山	桃酒舎栗山先生	横切	1
2	7月14日	覚 (謝礼金受納)	岡部均平	町田瀧之助	継	1
1	7月13日	覚 (金銭受納)	圓正寺	新館町田瀧之助	豎切	1
8040						
8039	7月13日	(読経施齋料受取覚)	龍泉寺	町田俊三郎	切	1
8038	7月8日	筈取 (読経施齋料)	龍泉寺内納所	本家	横切	1
8037	7月4日	覚 (般若堂修理入用)	櫃沢八三郎	町田栄治郎	継	1
8036	6月24日	覚 (法華経読誦について)	柏林寺	町田浦之助	豎	1
8035	1月2日	覚 (護摩料ほか受取)	ねの山帳場役人	新館当家使	横切	1
8034	1月1日	覚 (護摩料ほか受取)	子ノ山院代	使	継	1
8033	亥年12月30日	覚 (祠堂金利息受取)	圓正寺	新館町田瀧之助	切	1
8032	亥年12月27日	受納覚 (読経施齋料)	龍泉寺	町田瀧之助	包・切	2
8031	亥年8月6日	(金銭受納書)	圓正寺	町田瀧之助	切	1